

卓話 商業教育（ビジネス教育）はこのままでいいのか？

～10年後のビジネス教育に求められるもの～

～10年後のビジネスマンに求められるもの～

鹿児島商業高校 校長増利裕之様

商業科の教員として、本県の教育に携わり、36年になる。この数年、鹿児島県の商業教育の中核に携わらせていただき、商業教育の現状と課題などを具に見てきた。本県もさることながら、全国でも、商業科で学びたいと思う生徒たちは減少をたどり、商業に関する学科も少なくなっている。日本の資本主義社会を支える根幹にビジネスマンの養成は欠かせないものという自負はあり、その役割を商業教育は担っていると思っている。商業科目の中に「簿記」の学習があるが、記帳の知識や技術を学ぶのは、商業科だけである。しかし、高校の学習は、記帳処理と資格取得が主であり、帳簿等から学ぶ財務分析や経営感覚を育てるまでに至っていない。簿記以外にも、ワープロやエクセルの操作技術、マーケティングや商品開発など、販売や経営等に関する学習を深めるが、このような学習をしていることが社会的に浸透されていない。生徒たちも学習した内容を企業人としてどのように活用したらよいか、わからないのではないかと。中学生や保護者の方々も就職するための学科が商業である、というような認識でしかない。大学に進学するから、美容師になるから、料理人やパティシエになるから、商業は必要ない。果たしてそうだろうか。大学進学後も就職は控え、美容師や料理人の世界にも経営はついて回る。簿記を中心に多くの商業科目を学ぶことで、経営に関わる知識や技術を深め、資格を取得することで自身の知識や技術、力量を証明している。私たち学校現場のPR不足、わかりやすい商業科目の説明不足を痛感している。そして何より学んだ商業の知識や技術をどのようにして、実社会で生かしていけばいいのか教えていないのではないかと。実務的・実践的・スペシャリストの育成と言いながら、大事な要素が欠けていたかに思う。生きる力とは、学んだことが実社会でどのように活用できるかを体得することではないかと。



最近の教育の中で、大きなキーワードがある。それは「アクティブラーニング」である。これは商業に限らず、全ての教科の中で生徒たちを主体的に取り組みせようという学習手段の一つである。「思考力・判断力・実践力」をつけるために、学習の方法も変わる時期にきている。

●出席委員会報告出席率向上にご協力を！

●今後の予定

出席報告	第2788例会	第2786回(2/3)訂正	3/2(水)	外部卓話 (株)昴 西村道子様
会員数	37 (33) 人	37 (33) 人	3/9(水)	クラブ定款休会③
出席数	24 (22) 人	25 (24) 人	3/16(水)	外部卓話 ヨシトメ産業吉留たかし様
出席率	68.57%	73.53%		

市内ロータリークラブのプログラム				★印は例会場ないし例会時間変更			
RC	例会日	プログラム	例会場	RC	例会日	プログラム	例会場
東	2/25(木)	夜間例会	サンデイズイン鹿児島	東南	3/1(火)	50周年について	サンロイヤル
北		会員卓話	レゾナント鹿児島	城西		外部卓話 鹿児島相互信用金庫 秋葉様	東急REIホテル
サザン		会員卓話 西嶋会員、小川会員	東急REIホテル	西	3/2(水)	★賀寿の宴 18:30	山形屋
鹿児島	2/26(金)	外部卓話 新日本航空(株) 秋定様	山形屋	西南		クラブフォーラム	ゆうづき
中央	2/29(月)	会員卓話	山形屋				